

言語・文学委員会人文学の国際化と日本語分科会（第24期・第8回）議事録

開催日時：2020年7月19日（日）10時～12時00分

場所：Web会議

出席者：窪菌晴夫，桑原聡，竹本幹夫，田口紀子，巽孝之，沼野充義，日比谷潤子，平田昌司，松森晶子，米田信子，吉田和彦

（オブザーバー出席）木部暢子国立国語研究所教授，ロバート・キャンベル国文学研究資料館館長，メアリー・ナイトン青山学院大学教授，クリス・タングレディ慶應義塾大学教授

・前回議事録の確認

- ・2020年3月30日の本分科会第7回の議事録を確認した。

議題

（1）シンポジウム準備状況報告

- ・2回開催したWGで細目を決定したとの報告があった。
- ・7月12日の予行演習も含め、準備は滞りなく進んできたとの報告。

（2）シンポジウム打ち合わせ・開催プログラムの確認

- ・司会者の確認および質問予定者の紹介があった。
- ・登壇予定者による画面操作の確認を行った。
- ・発表者が時間を超過した場合の合図について議論し、1分超過でベル、2分超過で司会者が割って入ることを決めた（実施せず）。
- ・委員以外の登壇者はここで退出を認めることとしたが、全員残留。

（3）シンポジウム成果報告について

・『学術の動向』に発表することとしたいが、7月21日開催予定のWGで検討することとした。窪菌委員から言語系は『学術の動向』の成果を発表することについて全員賛成との報告があった。

・キャンベル氏より新たに原稿を作成することが困難と思われるので、発表を録音し、それを原稿に起こしたものを校正することは可能かという質問があり、議論した結果、了承することとした。

（4）本年12月とりまとめ予定の提言案について

- ・これまで同様に全員参加可能な形でWGを継続し、原案を作成することとした。
- ・最終的には分科会（Web会議）で検討することとする。

(5) 提言案とりまとめタイムテーブルの確認

- ・11月～12月の間にWGおよび分科会を開催し、提言案をとりまとめることとした。
具体的には7月21日開催のWGで詰めることとする。

(6) その他

- ・WGを7月21日午後2時に開催する。